

まち懇（駄知地区）グループ意見のまとめ

日時：平成 27 年 3 月 25 日（水）午後 7 時 30 分～午後 9 時

会場：駄知公民館 2 階 大ホール

人数：27 名

議題：『土岐市や地域のまちづくりの問題点や課題について』

『市や地域の良いところ』（強み）	『市や地域の悪いところ』（弱み）
・子育て（中学生までの医療費無料） ・自然（緑が多い、自然豊か、展望が良い、自然環境に恵まれている、空気が良い、桜の木が多い、遊歩道が多い） ・地場産業（業界のまとまりがある、仕事がある、日本一の地場産業がある、働く人が多い、駄知が美濃焼の原点である） ・交通（インターチェンジが二つある、高速道路がある） ・歴史（文化遺産がある） ・特色のある公民館 ・人、地域（優しい、同年会がすごい、地区のつながり、陶磁器がすぐに手に入る、犯罪が少ない、各町の団結力が強い、地域社会でのまとまり、町を思う会がある、人情、見守り隊がある、老人にパワーがある、地域単位の動きが活発、住民間のコミュニティがある、老人の数が多、子どもが少ないので騒がしさがない、中学生の挨拶、町の人の顔がわかる） ・治安（犯罪が少ない、治安が悪くない） ・災害（災害が少ない、地震が少ない） ・住みやすさ（アウトレットがある、名古屋に近い、名古屋まで通勤圏、水道料金が安い、公共施設が充実している） ・地価が安い	・医療（病院の充実、医療機関が少ない、病院まで遠い、総合病院の赤字、医師不足、規模の縮小） ・子育て（保育園が少ない） ・地場産業（支援が少ない、陶磁器一本しかない） ・交通（バス代が高い、市民バスの形態が悪い、本数が少ない、利用が少ない） ・生活（スーパーマーケットがない、特産物が少ない、食品店が少ない、旨いものを出す店が少ない、物を買う場所が少ない、小売業の衰退、夜遅くまでやっている食事処がない、娯楽施設が少ない、市民プールがない） ・祭り（土岐市盆踊りをもっと盛り上げる） ・雇用（若者の仕事がない） ・観光（観光資源が乏しい） ・PR（もっとアピール必要、知名度がない、インパクト乏しい、有名グルメがない） ・教育（特色がない、ポリシーがない） ・衰退（空き家・空き工場が多い、施設の偏り感、町が暗い、昔のメインストリートが寂れている） ・人（子どもが少ない、若い人が少ない、町に活気がない、少子高齢化、独居が多い、人口減少、町内に新しい人がなじめない） ・行政（身近ではない、市長の方針が見えない） ・地域（コミュニティの為の集会所が少ない、公園が少ない） ・まちづくり（各町のまちづくりが不十分、土地の有効利用がない） ・道（不便、市内の道路が一周しづらい、平地が少ない、駅前がひどい、道路が狭い、歩道が狭く危険、通学路の不整備） ・防災（救急が不十分） ・66 号線のおかげで駄知町に他地区から人が寄らなくなった ・駅前（商店街を何とかする、シャッター通り）

『まちづくりに対する提案』（●はシール投票の票数を表す）

- ・総合病院が大病院の傘下に入る（JA 等）
- ・病院の抜本的改革の為にプロジェクトチームを組む
- ・総合病院を閉鎖し、診療所に移し赤字を減らす。多治見、瑞浪と連携する。
- ・総合病院について早急に赤字解消。できなければ廃止も●●●●
- ・医者、患者を増やし病院経営の安定を図る●
- ・医師の確保
- ・社会的弱者の公助・共助を推進する方策を策定する
- ・60 歳以後の退職後の元気なパワーの持ち主を上手に動かす
- ・お年寄りに必要とされるまち
- ・子育てに安心なまちづくり（身近に相談員、金銭面の補助）●●●●
- ・幼稚園、保育園料の減免●●
- ・足湯を作る
- ・駄知温泉復活
- ・みこし行列を行う●
- ・ホタルを放つ
- ・桜山、桃山、シデコブシ地域等自然を管理して観光地として育てる
- ・豊かな自然をいつまでも保てるよう手入れをする●
- ・自然の中で遊べる施設を作る
- ・ご当地アイドル（駄知 48）●●
- ・映画のロケ地とアピールする●●
- ・FM 駄知ラジオを開設●●
- ・宣伝する（チラシ等で素敵な場所を知らせる。ウォーキング、体力づくり等）
- ・土岐市の魅力をもっと発信する
- ・土岐市のアピールを全国的に行う
- ・産業の PR 推進（全国的に）●
- ・県外からの移住推進（特に補助金付を PR）●
- ・車禁止デーを作る
- ・市バス網の整備●
- ・住民の公共交通の積極的利用（市職員）
- ・バス共同経営
- ・駅と駄知のアクセスをよくする乗り合いタクシーの導入
- ・行政主導で赤字でもまずバスを走らせる
- ・バスの料金をあげない
- ・電車道に線路を！
- ・鉄道の復活●
- ・行政と民間で電車を走らせる
- ・地元で物を買う●●
- ・移動販売、コミュニケーションのある売り場を作る●●●●●
- ・スーパーを開設●
- ・空き家を活用して自由市場を開く

- ・美濃焼の振興
- ・陶磁器業界の後継者を全国に募集●
- ・試験場を窯業学校にする
- ・地元の後継者を優遇する●●
- ・地場産業について、ブランディングの推進、海外販売の拡大、産業観光の育成●●●●
- ・陶磁器産業について、ホームページ、インターネットにて広く若者に発信し、土岐市に移住の宣伝をする
- ・地場産業振興は必須。絵付け業の技術継承する制度づくりが必要●
- ・若手職人づくり（転入者）優遇制度、空き家活用
- ・ギャラリー等安い家賃で空き家を提供する●●●
- ・大きな産業（反面小さな産業が困る）●
- ・エネルギー関係の新産業を創出するよう研究する。
- ・企業誘致で税収確保
- ・駄知の歴史を学ぶことも重要
- ・教育問題（子供のしつけ）●
- ・学童保育の充実
- ・公民館、空き家の活用（色々な人が集まれる場所）
- ・東京から東濃へ
- ・市の予算を増やす●●
- ・若者を受け入れる施策をする（婚活・集団見合いを行う）●
- ・コミュニティ場所の提供。空き家の有効利用。
- ・市民が安心安全なまちづくり（歩道の確保、街路灯の整備、治安の確保）をしていく●
- ・自治の自由度アップ●●
- ・拡張に 1,000 万円限度で予算を立てさせ、採用の案件には配布する●●●●●
- ・空き家の活用を考える●●●
- ・空き地、空き家を調査し、低金額にて貸出し（他県から移住させる）●●
- ・空き地が多いため住み替えを促して近所の人が多くなるようにする●
- ・市内8町ごとの独自で魅力あるまちづくり（8町に交付金制度）●●
- ・婚活の充実●●●●●●●
- ・食べていけるまちづくり（若者）
- ・災害弱者、生活弱者を地域がどう守るか制度、仕組みづくり
- ・安い住宅を増やす●●
- ・駅前の空いている店を、若者に貸して店を出してもらおう●●●
- ・若者にチャンスを与える（駅前）
- ・土岐市の顔を作るため駅前の開発を（行政がお金を出して進める）●●

【参加者の感想】

- ・本音でしゃべれたのがいい。
- ・参考になった。
- ・若い世代が住みやすい駄知町にするためには陶器業界の今後の発展を願いたい。
- ・まちづくりに意欲がある人が多いことに心強く思いました。

- ・参加者の考え、思っていることなど知れてよかったです。今日の結果をぜひ反映してください。
- ・シール貼り、良い所悪い所、身近な問題を考えさせられる時間を持てました。一人一人が海エルという自覚が大切だと思います。
- ・グループワークの話し合いは良い。
- ・楽しかった。
- ・前もって内容を知らせることがあったら良かった。
- ・皆さん大変熱意のある対応で出席して良かったです。もっと大勢の人たちでできると良かったです。
- ・色々な事がわかり良い勉強になりました。考えていることが皆さん一緒だと感じました。思いが一緒！
- ・私のような老人が参加してどうかと思いましたが、何とか参加出来て良かったと思いました。今日のような会の進め方は全員で考えられるので良い方法だと思いました。
- ・駄知町の詳しい話が聞けてとても新鮮でした。駅まで距離があることがとても不便であることを知りました。
- ・大変良かった。
- ・色々なみんなの思いが聞けました。若者のためにも何とかしないといけない問題が多い。
- ・短時間でほんのさわり程度ですね。抜本的な事とは別のような気がして少し違和感がありました。
- ・まちづくり懇談会をもっともっとやってほしい。若者（中学生・高校生）などを集めて懇談会をやってほしい。いろんな考えが聞けたのでとても勉強になりました。
- ・町内の皆さんのいろんな意見、要望が聞けてためになった。

以上